

15. 埼玉県秩父市

1. 地域概要

計画名	地域住民と観光客が共存した持続可能な山間地域を目指す “三峰駐車場の混雑分散化事業”
対象エリア	秩父地域、秩父市大滝（三峰地区）
実施主体	秩父市
年間観光客入込数	約856万人 ※令和5年度1市4町全体
年間延べ宿泊者数	約39万8,400人 ※令和5年度1市4町全体
主な観光資源	寺社仏閣、祭、自然、鉱泉、酒、アニメツーリズム、秩父多摩甲斐国立公園

● 観光ビジョン

国内外観光客に優しい観光地をつくり、地域住民と観光客が共存した持続可能な山間地域を目指す

- デジタル活用により観光と交通の利便性を向上
- 観光客に公共交通機関の利用を促すことで社会インフラを維持し、地域住民の移動手段や通信手段を確保
- 誘客力のある観光コンテンツを強みに活かしながら、極度な需要集中を抑制
- 回遊を促し、秩父エリア全体に分散化を図ることで、広域的な観光誘客を推進

● 推進体制（協議の場）

秩父オーバーツーリズム対策協議会		
行政機関	事業者	住民関係者
秩父市	(一社) 秩父地域おもてなし観光公社	大滝町会理事会
	秩父商工会議所	
	秩父鉄道(株)	
	西武鉄道(株)	
	秩父タクシー協会	
	(一社) 秩父観光協会	
	オフィスプラス(株)	



三峯神社



秩父夜祭



芝桜の丘



秩父雲海

2. 課題

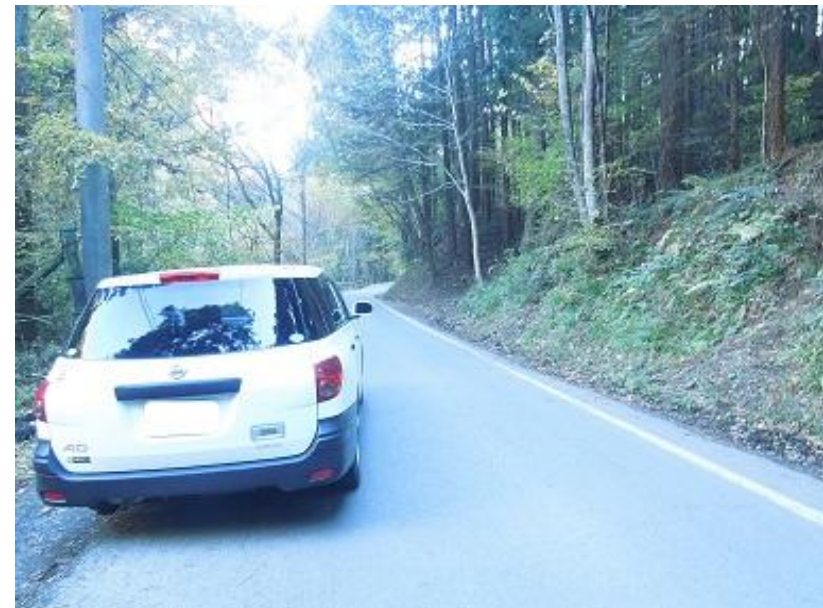
● 主な課題

	主な現状・問題点	影響を受けている主な対象
1. 交通渋滞	<ul style="list-style-type: none"> 三峯神社最寄りの市営三峰駐車場（246台）の混雑により、入庫待ちが発生し、渋滞が発生している（5km、5時間待ち以上の渋滞となることもある） 渋滞が原因で、折り返しのバスが到着せず、大幅遅延やトイレに行けないなどの問題が発生している 救急車両や物流トラックの通行に支障をきたし、地域住民にも影響が出ている 	観光客・地域住民
2. 上記に伴うマナー違反	<ul style="list-style-type: none"> 三峯神社周辺は秩父多摩甲斐国立公園の特別地域であるが、渋滞に伴い、路上や空き地等へのマナー違反駐車が見られている 	地域住民・観光資源

1. 三峯神社への渋滞の様子



2. 路上駐車などのマナー違反



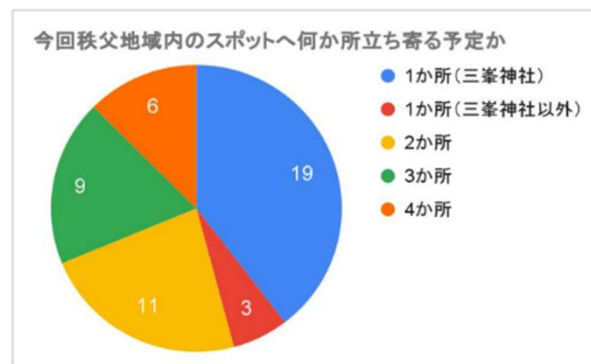
3. 背景・要因

● 課題の背景・要因

主な背景・要因

1. **特定スポットの集中**
 - ・ 秩父地域には多くの観光スポットがあるが、三峯神社を目当てに来訪する観光客が多い
 - ・ 街中の秩父神社、番場通り、秩父まつり会館などは、公共交通機関で来訪する場合は立ち寄り可能性が高いが、マイカーで来訪する場合は中心市街地をバイパスで迂回してしまうため街中観光に繋がりにくく、三峯神社混雑時における分散先・代替観光地として活かしていない
2. **特定時間の集中**
 - ・ 三峯神社への訪問は10時から14時までに集中するため、駐車場が混雑し渋滞が発生する
3. **狭い道への車の集中**
 - ・ 三峰駐車場（三峯神社）へのアクセス路は片側1車線となっており、交通容量に限りがある
4. **公共交通機関の利便性不足**
 - ・ 三峯神社は急峻な山間地に位置しているため、アクセス方法は最寄りの市営三峰駐車場（246台）からの徒歩のみ
 - ・ 駐車場へのアクセスは車（マイカー、レンタカー、観光バスなど）及び路線バスに限られており、さらに中心市街地から車で1時間以上かかる迂回路がない片側一車線の道となっている
 - ・ 大きな荷物を預ける場所が足りておらず、公共交通機関を利用しての回遊がしにくいいため、車で来訪が観光の快適性や利便性において優位となってしまう、マイカー集中に繋がってしまう

1. 特定スポットの混雑



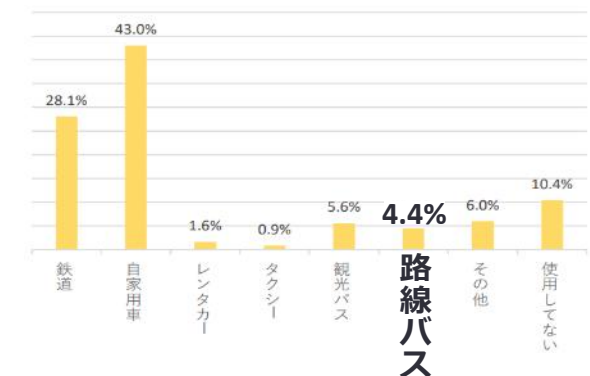
- ・ 三峯神社の1か所のみ立ち寄る割合は5割近く、三峯神社に匹敵する観光コンテンツは少ない
- ※令和6年2月実施のアンケート参照

3. 狭い道



- ・ 片側1車線となっており、交通容量に限りがある

4. 公共交通機関利用者の利便性



- ・ 秩父地域内での交通手段は自家用車での移動がほとんどであり、三峯神社への公共交通機関を含む路線バスの利用者は全体の4.4%のみとなっている

4. 対策の概要

- 秩父市では三峯神社（三峰駐車場）への一極集中に伴い、深刻な交通渋滞が発生している
- 本事業では、主に①車での来訪者②車での来訪予定者③公共交通機関での来訪者に対し行動変容を促す施策を行う
 - ① 車での来訪者に対しては混雑情報と代替観光の情報を発信し訪問時間の変更等の行動変容を促す
 - ② 車での来訪予定者には、混雑予測を発信することで公共交通機関での訪問や時期、時間をずらし訪問するなどの行動変容を促す
 - ③ 公共交通機関での来訪者（公共交通機関への訪問を促した来訪者も含む）には、三峯神社での混雑時に代替観光を選択することができるよう、情報を発信する
- 上記にあわせて、コインロッカーの整備などの受入れ環境整備も実施する

観光客の分散・平準化

取組み	①-a.AIカメラによる混雑予測機能の構築 ①-b.道の駅等へデジタルサイネージの整備
内容	<ul style="list-style-type: none"> 訪問前段階から行動変容を促すには、混雑状況の配信のみでは不十分であるため、渋滞予測機能を構築・発信する(①-a.) 旅行中の行動変容を強化するために、混雑状況、混雑予測、混雑時の代替観光スポット、マナー啓発に関する発信を行う(①-b.)
取組み	②西武秩父駅へのサイネージ設置
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①で発信する情報を、玄関口である西武秩父駅でも確認できるよう、駅構内にサイネージを設置する
取組み	③-a.西武秩父駅前観光案内所のレンタサイクルに予約機能を導入 ③-b.タクシー定額プランの新規造成
内容	<ul style="list-style-type: none"> マイカー以外のアクセス手段の周知や秩父来訪後の移動手段の予約の利便性を向上させ、自動車から公共交通機関利用への行動変容を促す(③-a.) 公共交通機関での来訪者に対して、混雑時の代替手段を提供する(③-a.)
取組み	④まちなか夜間イベントの実施と観光行動のデータ分析
背景	<ul style="list-style-type: none"> 三峯神社への自動車での来訪者は10～14時に来訪する観光客が多く、来訪時間帯の集中が駐車場の混雑や渋滞の原因となっている
内容	<ul style="list-style-type: none"> 夜間イベントを実施し、10～14時から夕方へと来訪時間の分散を促す。併せて、アンケート実施により行動パターン及び行動変容への影響を調査・分析する

受入環境整備

取組み	⑤-a.コインロッカーの更新・増設 ⑤-b.Wi-Fi環境整備 ⑤-c.SL客車の高付加価値化
内容	<ul style="list-style-type: none"> バスに大きな荷物が持ち込まれることによる混雑や危険を回避するとともに、快適な観光を提供するために、コインロッカーを増設する(⑤-a.) ①で発信する情報を主にインバウンド客が閲覧できるよう、主要駅にWi-Fi環境を整備する(⑤-b.) SL客車の魅力を向上し、公共交通機関の利用を促進する(⑤-c.)
取組み	⑥手荷物一時預かりサービス及び荷物回送サービス
内容	<ul style="list-style-type: none"> 主に公共交通機関を利用する来訪者が快適に観光できるよう、手ぶら観光を促進する



5-①. 主な取組み（詳細）

課題

市営三峰駐車場の長時間渋滞・需要集中、マナー違反

取組み

AIカメラによる混雑予測機能の構築
道の駅等へデジタルサイネージの整備

- ・ 実施期間：令和6年11月～令和7年2月
- ・ 実施主体：秩父市

事業内容

①：混雑予測機能の構築

- ・ 混雑状況のリアルタイム配信に、混雑予測機能を構築する
- ・ リアルタイム混雑状況に加え、日・時間ごとの混雑予測をグラフで表示予定。予測には、過去の統計や天気予報などを組み合わせたアルゴリズムを設計

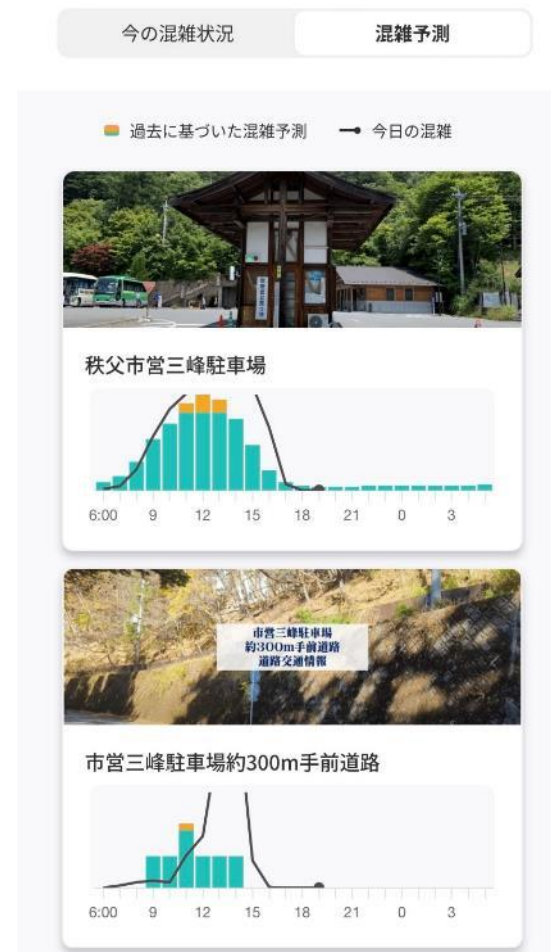
②：道の駅等へデジタルサイネージの整備

- ・ 混雑予測機能に加え、既存の混雑状況、混雑時の代替観光先、マナー啓発に関する情報を発信するサイネージを設置する

【背景・目的】

- ・ 来訪者の行動変容を促すため、令和5年度より三峰駐車場、三峰駐車場300m手前及び2.2km手前にAIカメラを設置し、混雑状況のリアルタイム配信を行っている
- ・ 設置したAIカメラを用いてどこから来た来訪者かの分析を行った結果、8割以上が関東圏内であることが分かった
- ・ これらの来訪者を主なターゲットとして旅行前段階からの行動変容を促すために混雑予測機能を構築する

混雑状況/予測配信サイト



サイネージ



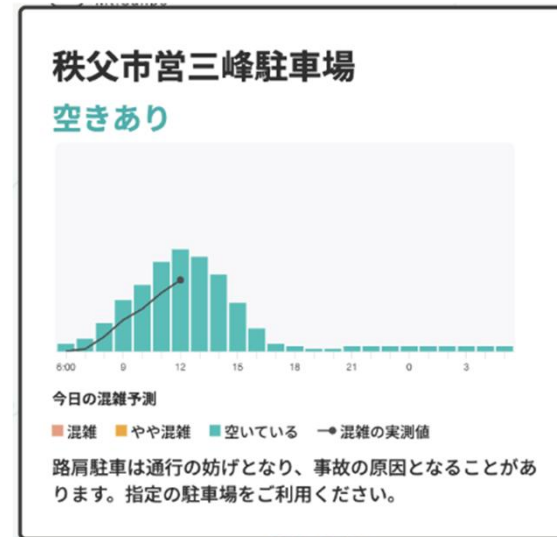
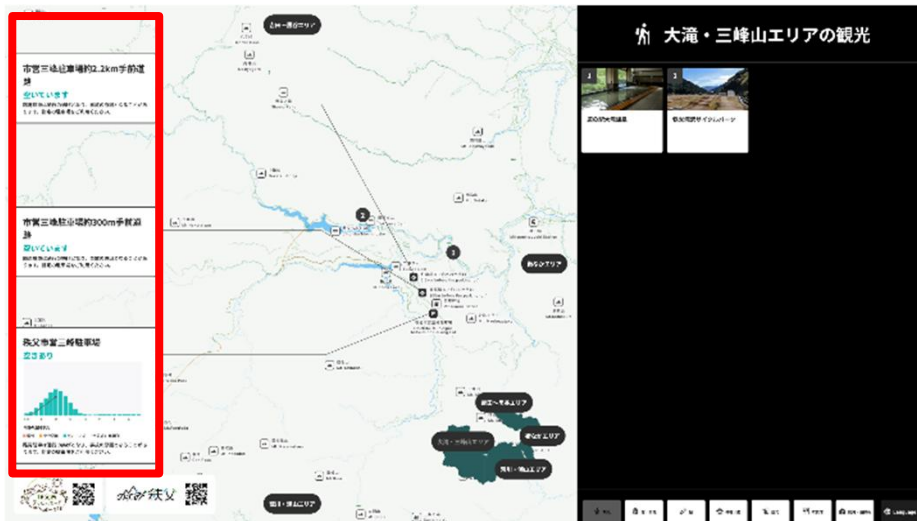
道の駅 大滝温泉



道の駅 ちちぶ

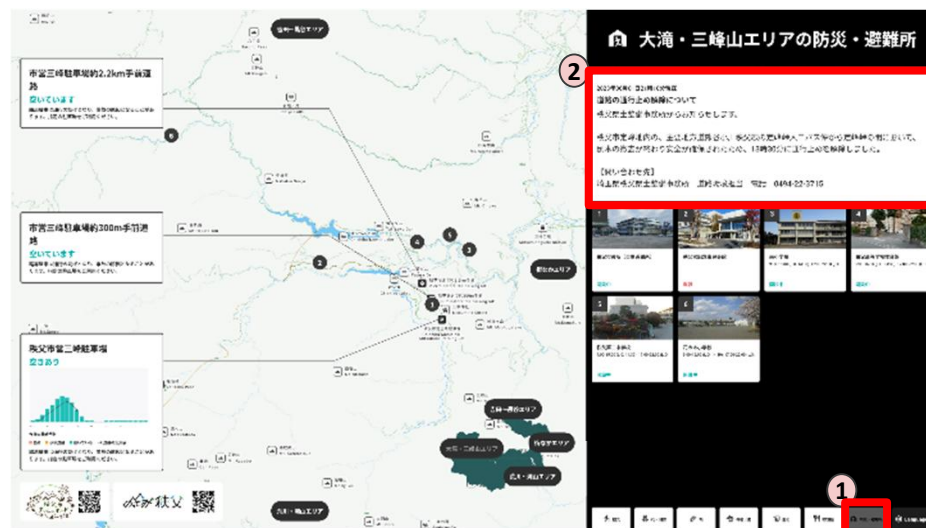
事業内容

2か所に設置したタッチ式デジタルサイネージの設計・UIデザイン



- 「秩父市営三峰駐車場」、「駐車場まで約300m地点」及び「駐車場まで約2.2m地点」の3箇所における混雑状況と混雑予測をマップ上に表示

- 「秩父市営三峰駐車場」、「駐車場まで約300m地点」及び「駐車場まで約2.2m地点」の3箇所について、路肩駐車を防止するため、「路肩駐車は通行の妨げとなり、事故の原因となることがあります。指定の駐車場をご利用ください。」という文言を表示



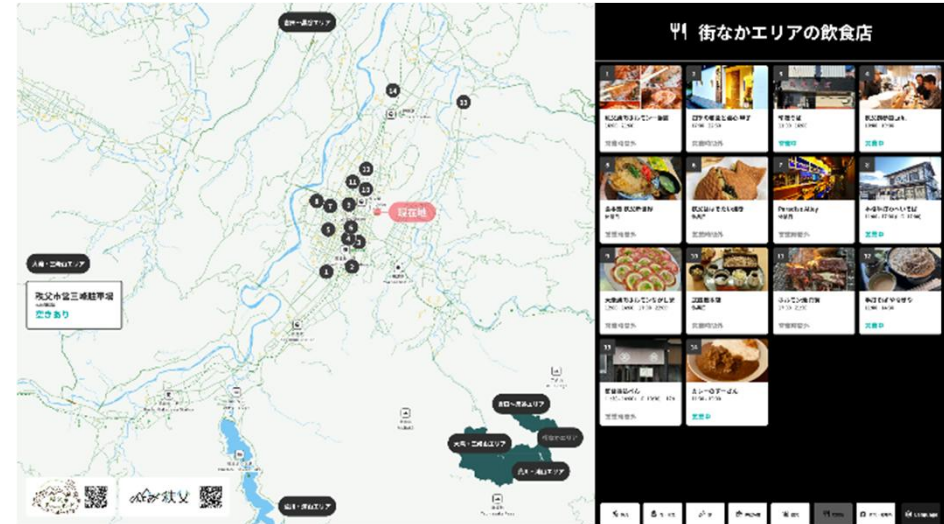
- ジャンルボタンから防災・避難所を選択すると、エリアごとの防災・避難所情報を表示（①）
- 右側では各施設の詳細を表すカードを配置し、タッチすることで各々の施設の詳細画面へ遷移
- ちちぶ安心・安全メールから受け取った災害情報を当日分スクロールする形で表示（②）

事業内容

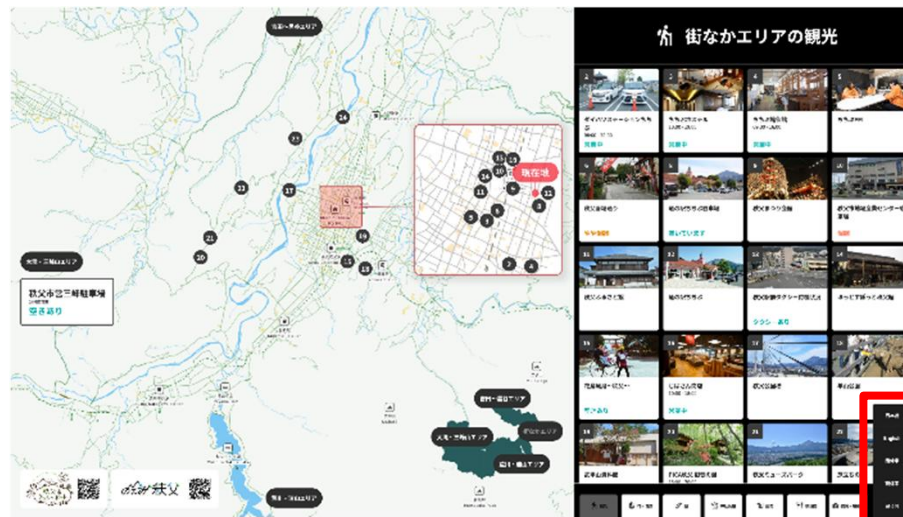
2か所に設置したタッチ式デジタルサイネージの設計・UIデザイン



- サイネージがタッチ操作できることを明示し、ユーザーの興味を喚起
- 画面上のいずれかをタッチすると「観光スポット」の画面を表示
- 画面から300秒間操作が行われない場合には、この画面へ戻る



- ジャンルボタンからジャンルを選択すると、該当ジャンルのエリアごとの情報を表示
- 左側にマップを配置し、登録施設の場所にピンを配置し現在地からの位置関係を表示
- 右側では各施設の詳細を表すカードを配置し、タッチすることで各々の施設の詳細画面へ遷移



- 「Language」ボタンを選択することで多言語への表示切替が可能

5-①. 成果及び今後に向けて

令和6年度事業の目標

A : 三峰駐車場の混雑が要因の苦情防止

B : 三峰駐車場の混雑緩和

- ▶ 三峰駐車場における待ち車両数の抑制
- ▶ 混雑状況+混雑予測サイトのPV数 : **24,000回**

事業の成果／目標の検証結果

A : 三峰駐車場の混雑を要因とした苦情については、目標としていたゼロ件を達成

- ▶ 苦情（路上トイレや駐車に関する）の件数 : **0件**（2月、3月）

B : 混雑予測機能の混雑緩和への効果

- ▶ 三峰駐車場における車両
- ▶ 混雑状況+混雑予測サイトのPV数 : **16,178回**（達成率67.4%）

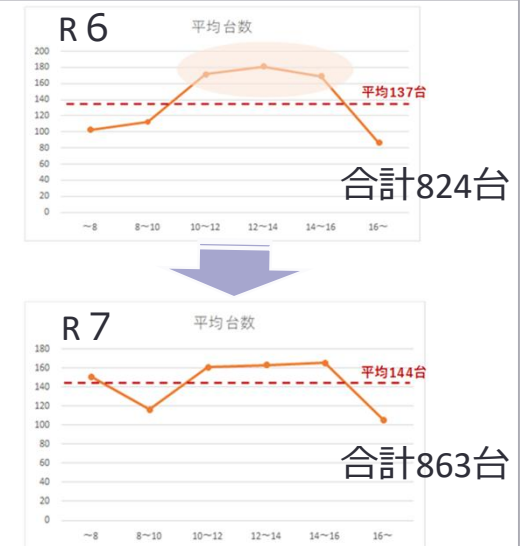
成果詳細

■ 混雑状況・混雑予測サイト

- 苦情の件数については、**0件で達成**
- 混雑予測は2/1から配信開始しており、3月31日の時点でPV数は16,178回と、目標の約67.4%の達成状況
混雑予測開始前の令和6年4月1日から令和7年1月31日までの総PV数は141,139回であり、月あたりの平均は約14,114回
- 渋滞予測と実際の混雑がほとんど一致しており、予測の精度は高い
※ライトアップイベント時は、予測よりも実際の混雑が後ろ倒しになった様子も確認できた
- 導入前のGW（繁忙期）は10時～16時の入庫台数が平均より、かなり上振れているが、令和7年のGWでは平均との差が小さくなり、三峯神社訪問の時間帯の分散に成功したと言える（右図）
- 一方で、合計台数に変化はなく、自動車への依存状況は変わらない

■ デジタルサイネージ

- デジタルサイネージは2/20（木）に道の駅大滝温泉及び道の駅ちぢぶに設置し、2/21（金）から供用開始



令和6年度 of 取組みから見えてきた課題

■ 判読性の課題

- 文字情報だけでは、混雑状況は伝わりづらい場合があった

令和7年以降に取り組むべきと考えること

■ 混雑状況の画像や動画配信

- 文字情報とあわせて、画像や映像の配信を検討する

課題

市営三峰駐車場の長時間渋滞・時間帯の集中

取組み

まちなか夜間イベントの実施と観光行動のデータ分析

- ・ 実施期間：令和6年12月～令和7年2月
- ・ 実施主体：（一社）秩父地域おもてなし観光公社

事業内容

■ まちなか夜間イベントの実施

- ・ 秩父駅周辺にてライトアップイベントを実施。混雑する三峯神社からイベントの誘導の仕掛け、旅行前段階からの周知も併せて実施する

Point 1

■ 昼以外の時間帯への誘導／秩父市街地エリアとの連携の仕掛けを追加

・ 夕方移動へのインセンティブ

- 14時以降に駐車場に入った方は夜バルチケットがもらえる
- 令和6年度、夜間のライトアップイベントとの導線を確認できるか検証

Point 3

■ 夕方～夜間観光へ誘導するための周知

秩父は夕方～夜が面白い、夕方以降が空いていると認知してもらえるよう、駐車場HP、混雑情報サイト、ライトアップイベントHPなど、多様なチャネルにて三峯神社+ライトアップイベントをセットにして旅行前段階からの周知を実施

Point 2

■ マイカー抑制・分散化に資する「徒歩周遊」を促す仕掛けを追加

提灯持ちながらの夜の街歩き、街バルでのほしご酒の開催



スポット間もライトアップすることで、車ではなく徒歩での周遊を促すとともに、街歩きによる分散を図ることで、特定スポットの混雑を緩和



5-②. 主な取組み（詳細）

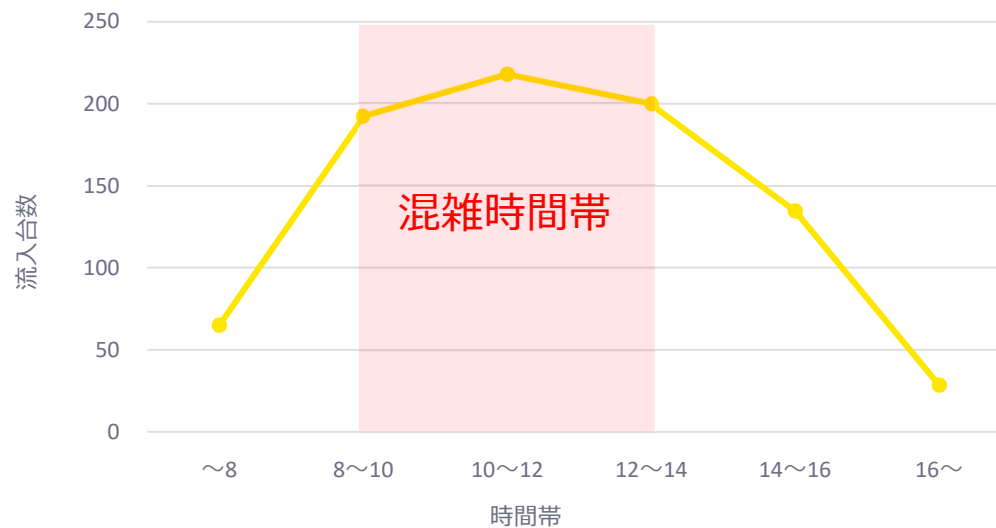
事業内容

【背景・目的】

- 三峯神社への自動車での来訪者は**10時から14時に来訪する観光客が多く、来訪時間帯の集中が駐車場満車及び渋滞の原因の一つ**となっている
- 三峯神社へは秩父中心市街地からも車で約1時間かかる。**日帰りで観光しようとする、10時から14時の間で三峯神社に訪問する旅程になりやすい**
- そのため、夜間にイベントを実施することで、夜間観光との導線を確立し、**訪問時間が後ろ倒しになるよう行動変容を目指す**
- あわせて、アンケートを実施することで行動パターン及び行動変容への影響を調査分析する

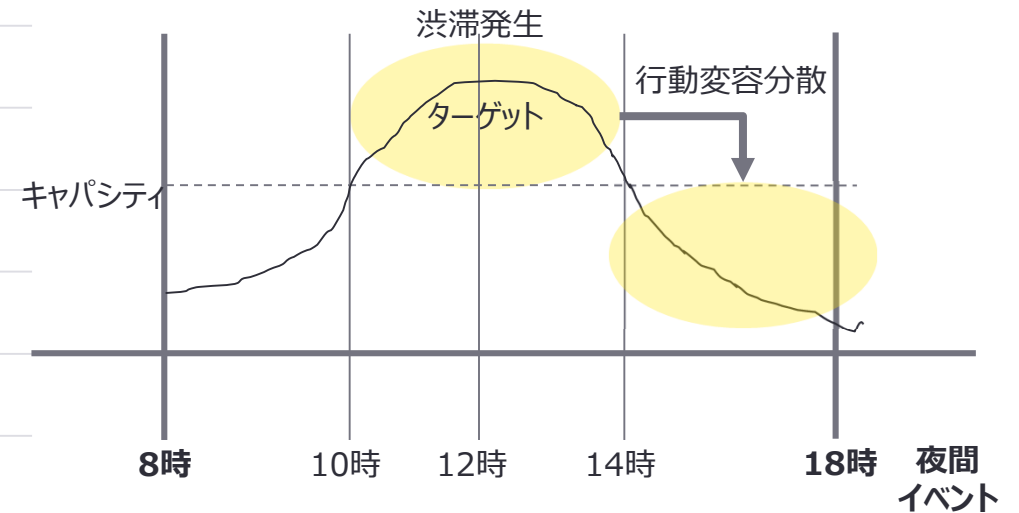
現状分析

連休における車の平均流入台数（三峰駐車場）*



(*令和6年9月実績集計)

時間帯の分散による渋滞緩和のイメージ



令和6年度事業の目標

三峰駐車場の混雑時間帯における入庫割合減少

事業の成果／目標の検証結果

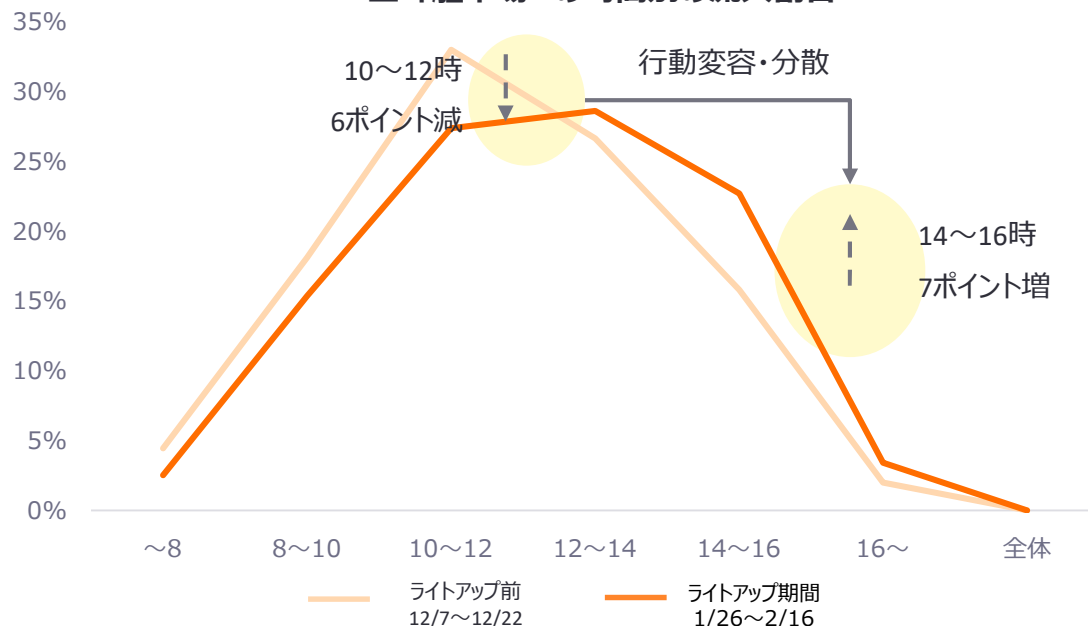
三峰駐車場の混雑時間帯の入庫割合減少を達成

- ▶ 夜間イベント実施により訪問時間帯が変化した割合：**11%**（目標10%）
- ▶ 14時以降の入庫数の割合：**9%増**（目標10%）
- ▶ 2月の三峰駐車場の渋滞発生有無：**4日**（目標6日以内）
- ▶ 2月の300m手前の渋滞発生有無：**3日**（目標4日以内）
- ▶ 2月の2.2km手前の渋滞発生有無：**0日**（目標0日）

成果詳細

- 市営三峰駐車場での実施アンケートにおける「夜間イベントが三峯神社への到着時間に関係したか教えてください。」の設問に対する答え：**到着時間を遅くしたとの回答は5件/全45件（約11%）**
- AIカメラデータを検証すると、夜間イベント実施期間は**14時以降の流入が9%増加、普段のピーク時である10時から12時の間が6%減少**

三峰駐車場への時間別の流入割合



●三峰駐車場への時間帯別流入台数（1日平均）

時間帯	ライトアップ前 12/7～12/22		ライトアップ期間 1/26～2/16		
	台数	割合	台数	割合	
～8	17	4%	9	2%	
8～10	69	18%	54	15%	
10～12	126	33%	97	27%	
12～14	102	27%	102	29%	
14～16	60	16%	81	23%	→7%増
16～	8	2%	13	4%	→2%増
全体	383	-	356	-	計9%増

5-②. 成果及び今後に向けて

令和6年度の取組みから見えてきた課題

- 混雑情報の発信や受入環境の整備については進捗したが、混雑回避に関する観光客の行動変容については、顕著な成果を得るには至らなかった

1 行動変容まで繋げる取組の実施

- 混雑している、または混雑しそうという情報だけでは、混雑を避けて効率よく観光するという観光客の行動変容にまではつなげていない
- 周遊プランの提示や、望ましい行動を盛り込んだパッケージを提示するなど、実際の行動変容につなげる取組をより強く実施していく必要がある

2 混雑時間帯の車両利用のさらなる抑制

- 移動手段がマイカーやレンタカーへの依存状況は大きく変わらなかった
- 要因として、観光客にとって、なじみの薄い土地で公共交通機関を使いこなすのはハードルが高いことがあると考えられる

3 公共交通機関の混雑への対応

- 公共交通機関の利用を勧めても、三峯神社線等利用者の多い路線は慢性的に混雑している
- 片道1時間以上かけて満員のバスで山道を揺られることを好まない観光客も多く、状況は大きく変わらなかった

令和7年度以降に取り組むべきと考えること

- 混雑日やピーク時間帯を避けることで、快適性や特別な体験が得られるという口コミを広めるためのプランやパッケージを構築

1 観光バス車両での予約指定席シャトルバスの運行

- 三峯神社までの予約指定席シャトルバスを実証運行
- 持続可能なビジネスモデルや運営体制を検証

2 三峰駐車場にダイナミックプライシング導入を検討

- 土日祝日は基本駐車料金を値上げ
- 14時以降はクーポン券を配布（回遊施策へつなげる）等を検討

3 ライドシェアの導入検討

- ライドシェアの導入に向けて協議を開始

現状について

- 令和7年度は、オーバーツーリズムの観点から、土日の混雑緩和を配慮し、平日にツアーを催行した取組等を実施しました。
- 詳細は、一般社団法人おもてなし秩父地域おもてなし観光公社HP (<https://www.chichibu-omotenashi.com/2025/09/7848/>) をご覧ください。